

マダガスカルのことわざ一覧

1. 神様がいないと思って目つぶって飛ぶ。
2. 高い木が風邪に嫌われる。
3. 親戚を打つ銃ははっきり見せる。
4. 呪いはなくやったことが自分に返ってくるだけだ。
5. 犬イナゴは持ち主でも嫌い。
6. 冬の道になれて夏でも歩く。
7. 一本の木は森ではない。
8. 箱の半分の蜂蜜を満たすのは口だ。
9. イナゴは二度と門に泊まらない。
10. 他人が待てない神様は私が待つ。
11. 歯と唇は強いほうが先に落ちる。
12. やかん(釜)の近くはすすだらけになる。
13. 結婚相手にするのはたくさんいるが、義理の親にするのはいない。
14. 雷は二度と落ちない。
15. 金はお客さんのように今日来て明日去っていく。
16. 水に落ちた塩は戻らない。
17. 米を脱穀するのは脱穀機でなきゃ終われない。
18. 子供のぶどうのようむりやりで熟した。
19. 夏の祭は午前中だけだ。
20. 過ぎた冬は忘れる。
21. 秋の時にくわを借りたら持ち主に働きに行かせることになる。
22. 曲がっている薩摩芋を真直にするのは喉だ。
23. グアイカ（鳥？）の待ち合わせ場所はピーナッツ畑だ。
24. 守ってくれない先祖なら、薩摩芋を掘り出すのに起こして下さい。
25. ある木で舟が作られるようになったのはその木が植えてあった土地がよかったからだ。
26. アヒルの背中にかけた水はすべて流れる。
27. お父さんと同じのは馬鹿だ。
28. 後ろの歯より先に嚙むな。
29. 踊りが上手な妻でいばるな。腕で証明しろ。
30. ドアへの愛情のように、好きだけど押したりする。
31. 小さい蛙と大きい蛙が一緒の時に大きいほうが馬鹿だ。
32. 目がやりすぎですから心が嫌なことを記憶する。
33. チリとペッパーはそれぞれ自分の辛さを持つ。
34. 雷を撃ったカノン砲は二つの惨事が出会う。

35. 水の中で戦ったら両方ともぬれる。
36. 恥ずかしさは顔を変える。
37. 人間は石の心ではなく樹脂の心である。
38. 人間はなべの縁のようですから一つの輪です。
39. 米一個をまいたが米百個を刈り入れる。
40. 勤勉ができない難しいことはない。
41. 長い足は食べ物を見つけられる。
42. 怠け者こそが一番疲れる。
43. 夕方の太陽はちょっとしか持たれない。
44. カヌーに入った足は後退できない。
45. 一人は二つの水差しを頭の上ののせて運べない。
46. 四本の足は同時に動かない。
47. イバラにいるハリネズミは見えるが取り難い。
48. いい鳴き声の牛は自分の口のお陰で売れている。
49. 悪いものからは角がない。
50. 壁を世話したら、もたれる。石を世話したら、座れる。
51. 叱責は風ようだ。自分を触っているが顔が見れない。
52. たくさん渡ったらワニにやられない。
53. ぬか（ふすま）と豚は別れるのは死だ。
54. 陰のようにしないで、一緒は一緒ですが仲間にできない。
55. カニの手は多いが無用。
56. 悪いことに一緒になる。鎖につながれた犯人達の様だ。
57. 悲しみは目と鼻をつなぐ。
58. 口と手の付き合い方にしなさい。手が痛かったら口が吹く、口が痛かったら手が撫でる。
59. 友達のやった悪いことは痛い。
60. 道に現れる薩摩芋は自分で捨てる。
61. 怖がらないでください。指で差されたら死なないから。
62. 弱いものを虐げるものは強いものに虐げられる。
63. ファイアプレースに使う五つの石は誰でも持っているよ。
64. 溝が好きな鶏は猫に狩猟になる。
65. なべが割れたのに、料理人が怒る。
66. 大食家を誘ったら、ご飯が無くなる。馬鹿を説教したら、口が疲れる。
67. 横になって上を向いて玖波を吐くな。
68. 火で遊んでいる白いチョウは自分の自由意志で死ぬ。
69. 行方不明らい患者は誰も探していない。

70. 口のきけない人の歌:心の中で歌う。
71. がにまた足の方は道全部を占める。
72. らい患者の布ですから勇気のある人しか借りない。
73. 盲人の泳ぎ:頭がぶつかったら上がる。
74. 薩摩芋に出会った歯のない人、自分にぴったりだ。
75. 財産は鼻毛のようだ。一遍に少なく取っても多く取っても痛い。